

## 現状・課題

## 計画的な施策の展開

## 政策目標

近年顕著に積極的に運動する子どもとそうでない子どもの二極化が認められる。

二極化の傾向は、小学校の早い段階で認められることから、幼児期から積極的に運動に親しむ習慣を身に付けさせることが必要。

運動習慣や望ましい生活習慣を身に付けさせるための環境づくりが重要であり、学校だけでなく、家庭や地域における体力向上策が必要。

生涯にわたり運動・スポーツに親しむ資質や能力を十分に育むためには、小学校における体育の支援体制を含め、学校における体育の充実が必要。

運動部活動の加入率が横ばいであり、生徒のニーズ等に応じた多様なスポーツに親しむ機会の充実が必要。

子どもが体を動かす楽しさを味わい、積極的にスポーツに参画することができるよう地域社会全体でスポーツに親しむための機会の充実が必要。

### (1) 幼児期からの子どもの体力向上策の推進

#### 【施策目標】

全国体力・運動能力等調査などによる検証を行いつつ、子どもが積極的に外遊びや運動・スポーツに親しむ習慣や意欲を養い、体力の向上を図る。

#### 【今後の主な施策の方向性】

- ・幼児期からの運動促進に向けた取組の推進
- ・子どもの体力向上に関する保護者への普及啓発を推進 等

### (2) 学校の体育に関する活動の充実

#### 【施策目標】

教員の指導力の向上やスポーツ指導者の活用等による指導の充実、運動部活動の活性化などにより、児童生徒にスポーツの楽しさを味わわせるとともに、体力の向上を図る。

#### 【今後の主な施策の方向性】

- ・教員の指導力向上、地域スポーツ指導者活用などによる指導の充実策の推進
- ・武道等必修化に伴う指導体制・施設の充実
- ・多様な生徒のニーズに対応等できる運動部活動の運営等の改善・充実
- ・学校体育施設の充実
- ・障害のある児童生徒のスポーツ活動への必要な配慮等に向けた取組の推進
- ・スポーツ医・科学を活用した安全対策の推進 等

### (3) 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実

#### 【施策目標】

地域社会全体が連携・協働して、総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域のスポーツ活動により、子どものスポーツ機会を一層創出する。

#### 【今後の主な施策の方向性】

- ・総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域社会全体での取組の促進
- ・障害のある子どもへの必要な配慮等に向け取組の推進 等

今後10年間で子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることを目指し、当面、体力の向上傾向を維持し、確実なものとする。

+

スポーツを行うこと、見ること、支えることなどを通して、子どもたちがスポーツに積極的に参画できる環境を実現する。